

# お念仏の手渡し奉仕団 - SHINRAN CAMP 2010 -

## 参加者募集!!

### 今、聞きたい

真宗学を学ぶなら、「真宗の本」を読めば、語句の意味や道理や考え方は、伝えられるようになってくる。でも、それが自分の生き方や喜びになっているかというところ、そうは言えないように思う。今回、おじいちゃん、おばあちゃん世代が生活を通して歩いて来られた、生きた言葉や姿勢に触れることによって、真宗に対する私の観念の世界を破りたいと願っています。

現代に生まれてきた私にとって、縦のつながり希薄なものはありません。年齢が上がればあがるほど、そのつながりはどんどん希薄になっていきます。そんな中、お念仏に生きてこられた先輩の意見を直接聞ける機会は、私にとって何物にも変えがたい。私が先輩方に聞きたいことは、唯だ一つ。それは、どのように親鸞聖人のお念仏を頂かれ、生活を開いてこられたのかということです。このことを聞くことによって、自分自身はどう親鸞聖人のお念仏を頂いて日々生きていけるのかを確認したいと思っています。私の胸は今から高鳴っています。

大学院生 (北海道出身24歳)

大学院生 (新潟県出身26歳)

### 今、伝えたい

お念仏の救いは、家庭のお内仏を前にして、祖父母、父母、子ども、孫の3世代・4世代が共に勤めをし、朝夕毎日欠かすことなく続けてきた中で相続されてきました。有り難いことに、私もその伝統に恩恵をいただく1人です。しかし悲しきかなや、現代は核家族化によって世代が断絶し、お念仏の相続が途切れようとしています。私はこの風前の灯火を灯し続けるために、今後を担う孫世代のあなた達と夜食を共にして語り合い、親鸞聖人から私にまで届いたメッセージを手渡ししたいと思います。

推進員 (大阪府出身63歳)

お念仏の  
手渡し奉仕団  
SHINRAN CAMP  
2010

## 今、いのちがあなたを生きている



# お念仏の手渡し奉仕団 - SHINRAN CAMP 2010 - 開催要項

- 開催期間** 2010年7月10日(土)から12日(月)まで 2泊3日  
※2011年、2012年も開催いたします。
- 会場** 真宗本廟(東本願寺)研修道場
- 募集人数** 100名(定員になり次第締め切らせていただきます)  
【内訳】推進員60名(各教区推進員連絡協議会を通じて1教区2名まで)  
大学生40名(関係学校大学生)
- 申込期間** 2010年1月15日(金)から6月25日(金)まで  
第1次募集 2010年1月15日(金)から3月31日(水)まで  
第2次募集 2010年4月1日(木)から6月25日(金)まで
- 申込方法** お電話にて同朋会館(研修部075-371-9185)へお申し込みください(申込書を送付します)。
- 参加費** 推進員15,000円(別途:米2kg又は1,300円)  
大学生 3,500円
- 携行品** 念珠・「大谷派勤行集」・「真宗聖典」・筆記具・持薬・寝間着・清掃のできる服装・タオル・洗面具・健康保険証(コピー不可)・その他必要と思われるもの(推進員の方は肩衣・「同朋手帳」)

	7/10(土)	7/11(日)	7/12(月)
6:00		起床・洗面・清掃	
7:00		晨朝参拝	
8:00		朝食	
9:00		講義②～伝える～水島氏	諸殿押帳 ～教団史に学ぶ～
9:30			
10:00	入館	話し合い② 推進員から若人へ ～聞きたいこと言いたいこと～	協議会(班別) ～来年に向けて～
10:30	受付		
11:20	結成式 (終了後:趣旨説明)		解散式
12:00	昼食		
13:00		<記念写真撮影>	退館
14:00	御影堂・阿彌陀堂参拝 班別オリエンテーション	清掃奉仕	
15:30	講義①～聞く～水島氏	お内仏のお給仕(15時～)	
16:30	夕事動行		
17:00	夕食		
17:40	班長連絡会		
18:30			
19:00	話し合い① 若人から推進員へ ～聞きたいこと言いたいこと～	話し合い③ お内仏と私	
21:00	入浴 就寝		

※都合により日程を変更することがあります

## 奉仕団(真宗本廟奉仕)って何?

本廟奉仕の原点は、1262年に親鸞聖人がお亡くなりになった後、聖人の教えをうけたご門徒が、ありし日の聖人のご恩に報いるために、御真影(聖人の御木像)を安置し、おりおりに集い、聖人が明らかにされた教えにふれ、寄り合い、談合されたことをもととしています。

また、終戦間もなき頃、真宗本廟にはいたるところに草が生い茂り、諸殿の障子は黒ずんで破れ、廊下は埃にまみれ、荒れ果てていました。そんな状態を見か

ねた全国のご門徒が米や味噌を携えて上山され、寝食を共にして仏法談義をし、清掃奉仕にいそまれたのが奉仕団の始まりです。

さまざまな問題を抱える現代において、宗祖親鸞聖人の御真影のもとに身を置き、その教えにあうことを通じて、共に語り合い、人間として生まれた意義と生きる喜びを尋ねていく場として、今日まで途絶えることなく連続と受け継がれています。

## 推進員って何?

全国には、本廟奉仕を我が出発点として、本廟奉仕が終わったら、やれやれと我が家に帰っていくのではなく、真宗本廟での生活を地域や家庭にお土産として持ち帰り、お寺をはじめ、日々の生活の場を聞法の場として開き、そしてまた友を誘って真宗本廟奉仕に帰ってこられる方々があります。

真宗本廟において、自らがお念仏による生活を送ることを親鸞聖人に誓われ、日々その生活指標と日常生活とを照らしながら、友と手を携え合って聞法をされている方々を「推進員」と呼んでいます。

お問い合わせは、東本願寺(同朋会館)(075-371-9185)、水島教授(075-411-8924)、佐賀枝教授(075-411-8087)、富岡講師(075-411-8105)まで